

令和3年度 掛川市 取組方針

市政運営の基本姿勢	1
新型コロナウイルス対策	2
ワクチン接種の促進	3
ワクチン接種の進捗状況	4
掛川茶&観光プロモーション	5
地方分散の受け皿づくり	6
人に優しいデジタル化	7
各分野の改革	
改革1 教育・子育て	8
改革2 農業・茶業	9
改革3 防災	10
改革4 環境	11

掛川市長 久保田 崇

市政運営の基本姿勢

■ 今、世の中は急速に変化してきている

- 新型コロナウイルスの蔓延
- リモート化やデジタル化の進展
- 本格的な人口減少社会
- 地球温暖化への対応



変化に対応して チャレンジする 持続可能なまちづくり



すべての市民が
いきいきと暮らせる
掛川市へ



3つの政治姿勢

対話重視

- ・ 積極的な情報発信を行うとともに、互いの状況や思いを率直に話し合える意見交換会などの機会を増やすなど、本音の対話を重視した行政運営

未来志向

- ・ 新しい考え方や感覚を取り入れ、未来のテクノロジーを積極的に活用するなど、未来を描き、先手を打っていく行政運営

柔軟思考

- ・ 固定観念や既存の手法に縛られず、時代や社会の状況を的確に捉えながら臨機応変に対応する、柔軟思考の行政運営

新型コロナウイルス対策

■ 掛川市の感染予防の主な取組

- ・ 手洗いの励行やマスクの着用など基本的な感染予防対策の徹底、感染リスクの高い行動の回避を呼び掛け、新しい生活様式の定着を図ってきている



○ 市民へのワクチン接種

詳細は下のページ

接種体制：市内36カ所の医療機関の「個別接種」

市内4ヶ所の「集団接種」を組み合わせた体制

接種予約：クーポン券（接種券）が届いてから、インターネット予約サイトで予約、または、専用コールセンターに電話して予約

その他：高齢者施設等の入所者は施設内の接種を嘱託医に依頼

○ 抗原検査キット（1万個）で早期対応

- ・ 県内初めて1万個の抗原検査キットを配備
- ・ 感染者が出た施設等で迅速な検査を行い、感染拡大の防止につとめる

○ PCR検体採取センターの運営



■ 生活支援や経済対策

- 新型コロナの影響で売上が大幅に減少した中小企業等への応援給付金
- 低所得のひとり親世帯に子ども一人あたり5万円を給付（6月補正で予算化）
- 掛川市の公式LINE登録者4千人に地域特産品を贈呈（6月補正で予算化） など

ワクチン接種の促進

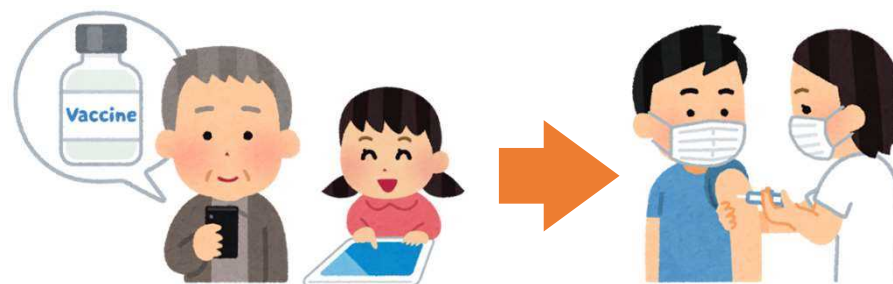
■ 高齢者ワクチン接種の予約枠

	実施期間	場所	予約枠	協力
個別接種	36医療機関による	36医療機関	集団接種と同程度	36医療機関
集団接種	5/29～8/8 土・日曜日	①・②・③・④	8,268人分	医師会
	6/21～7/30 平日	①	5,240人分	静岡県
	6/22～7/29 火・木曜日	②	2,160人分	中東遠総合 医療センター
	合計		15,668人分	

集団接種場所は、①掛川B&G海洋センター、②徳育保健センター、③大東保健センター、④大須賀市民交流センター

○ 予約申込支援など

- ① 相談窓口を市役所本庁、支所に開設
- ② 中学生による予約申込支援
- ③ 市民ボランティアによるお手伝い
- ④ 専用コールセンターの回線増設



ワクチン接種の進捗状況

■ 高齢者のワクチン接種を加速中

- ・ 高齢者のワクチン接種の7月末完了に向けて、接種を加速中

回数	月日		接種会場				医療従事者	日毎計	副反応による体調不良者	当日キャンセル者・予診等数
			掛川B&G海洋センター体育館	徳育保健センター	大東保健センター	大須賀市民交流センター				
1 回 目	5月29日	午後	120	120			0	240	0	0
	5月30日	午前	119	120	120	60	4	840	0	4
		午後	119	119	119	60				
	6月5日	午前	119	119			2	240	0	2
	6月6日	午前	120	118	120	60	3	846	0	2
		午後	120	125	120	60			0	1
	6月12日	午前	120	125			1	246	0	1
6月13日	午前	120	118	120	60	5	858	0	2	
	午後	119	138	119	59			0	3	
2 回 目	6月19日	午後	209	211			2	422	0	2
	6月20日	午前	210	210	210	108	4	1,476	0	0
		午後	208	210	208	108			0	4
会場ごと接種延べ人数計			1,703	1,733	1,136	575	21	5,168	0	21
2回接種終了人数			1,067							

掛川茶と観光のプロモーション

■ 掛川茶リブランディングプロジェクト

☆ 共感と感動を呼ぶ「茶と暮らし」への転換

○ これまでの戦略

- ・商品の価値、機能性のみでの勝負
- ・類似して差がつかない 模倣しやすい 競争相手が多い
- ・消費者が選択に困る

○ 新たな戦略

- ・共感を呼ぶためのブランディング（人の心に働きかける）
- ・他産地との差別化 模倣できない 競争相手が居ない
- ・消費者が惚れ込み選択に困らない

○ 売り手にとって都合の良い情報の列挙でなく、顧客の共感を呼ぶための物語を発信

○ 競争相手の多く消耗の激しい世界から脱し、競争相手の居ない独自の世界で勝負

☆ 具体的な取り組み

- ・茶にまつわる人々の物語、歴史などを可視化する素材の作成
- ・HP、WEB広告、SNS、首都圏での交通広告及び写真展、電子パンフ等による情報発信
- ・写真集、茶の歴史読物を作成→市内学校等への配布。改めて市民に茶の魅力を発信。



新たなブランドイメージ
「茶と暮らし」

■ 観光デジタルプロモーション

- ・掛川市のイメージとして真っ先に上がる掛川茶を活用したプロモーションを展開
- ・観光客に選んでもらうには、茶と同様、他地域との差別化が必要
- ・掛川茶のブランディングと共通のイメージで、効果的な広報用素材（動画等）を作成
- ・掛川茶の消費拡大、観光振興、シティープロモーションを一気通貫で行う

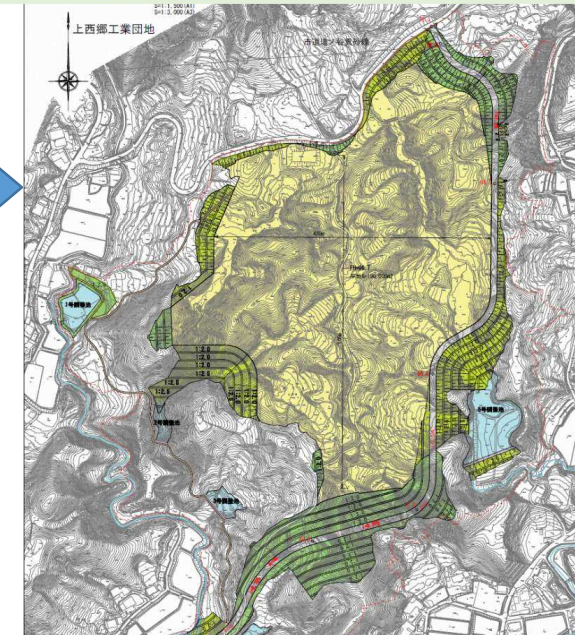
地方分散の受け皿づくり

■ 産業基盤の整備

- **大坂・土方工業用地**（11.8ha）
令和2年5月 造成工事着手
令和3年6月 一部区域造成完成
令和5年度 西工区全体造成完成予定
- **上西郷地区整備推進事業**（47.8ha）
令和2年3月 事業者からの企画公募開始
- **新エコポリス第3期工業用地**（約33ha）
早期事業着手に向けて調整を進める
- **（仮称）掛川第2PA**（3.7ha）
早期事業着手に向けて協議を進める

上西郷地区整備推進事業の3つのテーマ

- ・ 持続可能なまちづくり
- ・ 新時代を目指すまちづくり
- ・ ポストコロナ社会を見据えたまちづくり



■ 移住の促進

- **移住促進拠点施設整備事業**
令和3年度、宿泊スペース・ワークスペース・多目的スペースを備えた「移住拠点」を整備
- **地方分散を受けた都市づくり計画策定**
都市部のニーズを調査し、移住促進の展開施策を調査



人に優しいデジタル化

■ デジタル化の方向性

- あらゆる分野の基盤にデジタル化を意識
- 令和3年度、「DX推進計画」を策定
- ノウハウのある民間人材の力も借りてデジタル化を推進
- スマホで行政手続きがどこからでもできる「手のひら市役所」
- LINEやTwitterなどのSNSによる情報発信を強化



■ デジタル化の取組

豊かな 地域づくり

- ・ G I G Aスクール構想
- ・ データ公開の推進
- ・ 防災対策への活用



行政サービ スの向上

- ・ 電子申請の推進などマイナンバーカードの活用促進
- ・ 市事業のWeb配信など市民生活の利便性向上
- ・ 電子図書館システムの運用開始



働き方の 転換

- ・ R P Aを活用した業務効率化
- ・ 電子決裁、テレワークの拡大
- ・ 保育所等 A I 入所選考システムの導入



改革 1 教育・子育て

■ 新しい教育の創造

義務教育は100年に一度の変革期

令和2年度 市内すべての小・中学生に一人一台タブレット
令和4年度 小学校高学年に教科担任制が本格導入

- 教育情報化の推進
よりわかりやすく、質の高い授業
- 学園化構想、小中一貫教育の推進
- 小・中学校の再編の検討



タブレットを活用した教育情報化

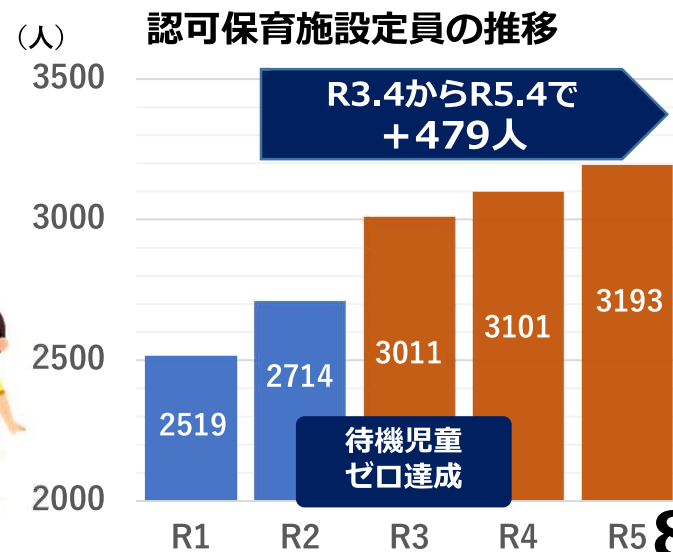


Pepper活用のプログラミング教育

■ 子育て支援

待機児童ゼロの継続、 質の高い乳幼児教育・保育のために

- ・ R3.4 よこすかぬく森こども園、智光こども園、モコ掛川保育園、小規模保育園が開園
- ・ R4.4 おおぶちそよ風こども園、千羽すぴか保育園の開園予定
- ・ R5.4 きとうこども園の開園予定
- ・ 保育士の確保施策（お仕事応援相談会、保育士等就職応援資金貸付事業）
- ・ かけがわ乳幼児教育未来学会との連携



改革2 農業・茶業

若い人が希望を持って参入できる仕組みづくりのために

■ 地域ブランドの発信

○ 掛川茶の振興

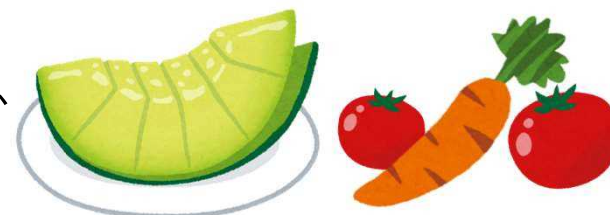
- ・ 掛川茶リブランディングプロジェクト
人に共感や感動を与える掛川茶の新しい情報発信
- ・ 掛川市茶振興計画の見直し
有機栽培茶の生産拡大等、SDGsに対応した計画へ発展
- ・ 健康効能研究に係る協力、効能データの活用・発信
オンラインでのお茶ひろめ隊活動、健康効能講座の開催



新たなブランドイメージ
「お茶と暮らし」

○ 掛川牛、露地・施設野菜の振興

- ・ 指定産地作物の安定供給に向けた取組
- ・ 地域ブランドとして商標登録されているメロン、トマト、ニンジン、掛川牛など農畜産生産者の支援



■ 規模拡大、環境整備支援

- ・ 農地の集約、基盤整備、集落営農の法人化の支援

■ 互産互消の展開

- ・ 地方都市とのネットワークを形成し、特産品・観光・定住の交流につなげて、地域経済の活性化を図る
- ・ 現在19地域産品の互産互消活動を展開中



これっしか処等で互産互消の
商品を販売中

改革3 防災

災害による死亡者ゼロを目指した 様々な取組

■ 海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」の整備

- ・ 自然災害から生活を守り、市民が集い、楽しむ杜を目指して整備を促進
- ・ 全長約9 kmの海岸防災林をレベル2の津波に対応した高さに嵩上げ



掛川潮騒の杜の完成予想

■ 橋りょう耐震化

- ・ 重要路線等にある67橋の耐震化を進める

掛川潮騒の杜の進捗状況

■ ソフト施策の充実

- ・ 災害による死亡者ゼロを目指し、避難の重要性の周知や、自助・共助の強化を図る
- ・ 「防災ガイドブック」を最新の知見を入れた内容に改訂

項目	H26~R2	R3	R4~
施工延長	4,030m	1,250m	3,720m
施工延長 累計	4,030m	5,280m	9,000m
進捗率	44.8%	58.7%	100.0%
盛土量	91万m ³	33万m³	35万m ³

■ 水害対策への備え

- ・ 流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を促進
- ・ 河川改修や浚渫を国、県と協力して進めるとともに、溜池や田圃などに洪水調整機能を持たせる活用方法の検討を進める
- ・ 小電力無線網を活用した「河川水位観測システム」による、河川状況の見える化により、防災対策に役立つ情報提供をする



河川水位観測システム **10**

改革 4 環境

■ 地域循環共生圏づくり

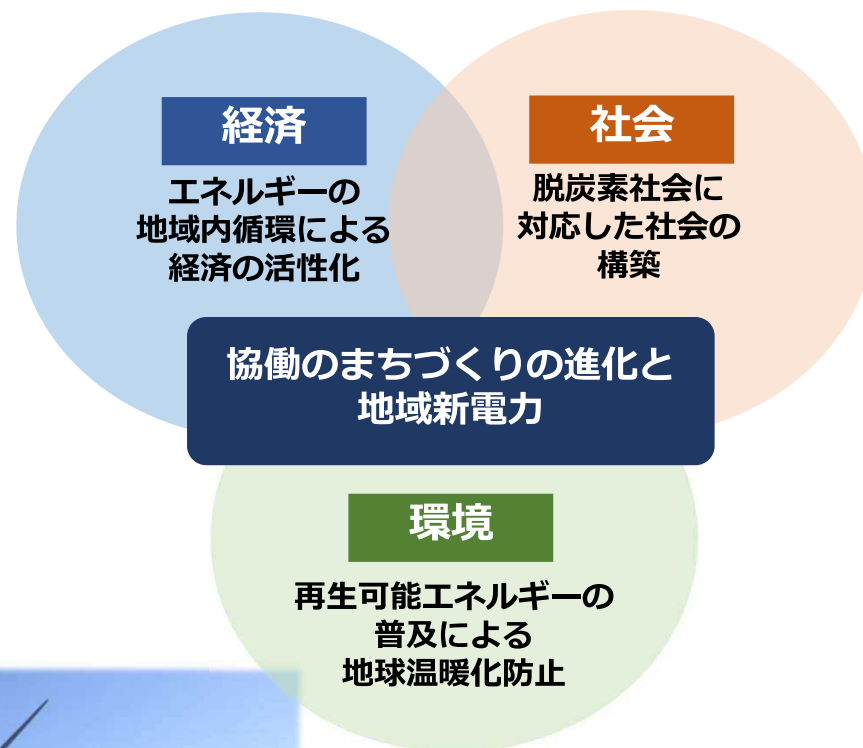
- ・ 令和 2 年、再生可能エネルギーにこだわった地域電力会社「かけがわ報徳パワー(株)」を設立
- ・ 令和 3 年度、74 の公共施設へ電力供給をスタート。地域内の資源・資金を地産地消し、地域内循環による温室効果ガス削減や地域経済の活性化を目指す

■ 再生可能エネルギーの普及促進

- ・ 2050 年のカーボンニュートラル宣言を受けた新たな目標の設定と対策

■ 新しい廃棄物処理施設の検討

- ・ 令和 2 年度、一部事務組合において「廃棄物処理施設整備等基本構想」を策定
- ・ 令和 3 年度、安全・安心な施設はもとより、地域循環共生圏づくりの拠点となる施設整備を検討



海岸エリアに連なる風力発電



かけがわ報徳パワー(株)設立 **11**